

透明度測定▶▶

週

材料・器具：濁度管・標識板・データシート

測定する

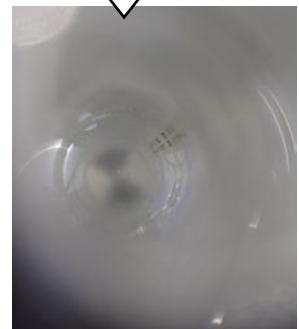
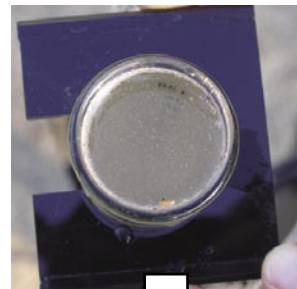
- ◎濁度管の底に標識板を入れ、管の上一杯まで水を入れる。
- ◎濁度管を上からのぞき表示を見る。
- ◎水をゆっくりと抜いていき、表示がはっきりと見えた位置で水を抜くのをやめ、目盛りを読む。

※ 3人一組で以下のように分担し、作業する。

- A：表示を見る係
- B：水を抜く係
- C：データを記録する係

※ A の人は太陽を背にして濁度管が陰になるように立つ（光が入ると見え方が変わってしまう）。

※測定値に個人差が出るため、役割をローテーションして3回データをとる。



記入する

観測した日時・測定値をデータワークシートに記入する。

※平均値は出さずに測定した値をそのまま記入する。

※濁度管いっぱい試料水を入れても標識板が確認できる場合は、測定値の入力欄に「レ」を入力する。

⇒グローブデータサーバーに送信！